

令和7年中における少年非行の概況

1 概況

令和7年における刑法犯少年の検挙・補導人員は220名で、前年に比べ75名増加しています。

犯罪少年は192名で、前年に比べ69名増加、触法少年は28名で、前年に比べ6名増加しています。

また、成人を含めた全刑法犯検挙人員に占める少年の割合は15.3%で、前年に比べ3.3ポイント増加しています。

刑法犯少年の再非行率は31.8%、犯罪少年の再犯者率は36.5%でした。

(①参照)

① 刑法犯少年の検挙・補導状況

年次	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	増減数	
刑法犯少年	犯罪少年	63	47	93	123	192	69
	触法少年	26	19	16	22	28	6
合計	89	66	109	145	220	75	
小学生割合	15.7%	21.2%	8.3%	6.9%	4.5%	-2.4P	
中学生割合	20.2%	31.8%	16.5%	31.0%	31.4%	0.4P	
高校生割合	27.0%	22.7%	45.0%	27.6%	32.3%	4.7P	
全刑法犯に占める少年の割合	7.6%	6.5%	9.9%	12.0%	15.3%	3.3P	
再非行率	20.2%	16.7%	19.3%	29.7%	31.8%	2.1P	
再犯者率	25.4%	19.1%	21.5%	30.9%	36.5%	4.1P	

2 特徴的傾向

(1) 中学生・高校生による非行が約6割

中学生の割合が31.4%で、前年に比べ0.4ポイント、高校生の割合が32.3%で、前年に比べ4.7ポイントそれぞれ増加するなど高校生の非行が増加傾向にあります。

(①参照)

(2) 検挙・補導人員は窃盗が約6割

窃盗の検挙・補導人員は121名で、前年に比べ43名増加し、全体の55%を占めています。

(②参照)

② 検挙・補導の罪種別

年次	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	増減数
凶悪犯	9	1	1	5	7	2
粗暴犯	10	9	14	37	40	3
窃盗犯	43	38	67	78	121	43
その他の刑法犯	27	18	27	25	52	27
合計	89	66	109	145	220	75

(3) 初発型非行は増加

動機が単純で、犯行が比較的容易な非行のことを初発型非行といいます。

初発型非行は、119名と前年に比べ46名増加しています。

(③参照)

③ 初発型非行の状況

年次	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	増減数	
窃盗	万引き	14	17	22	35	60	25
	オートバイ盗	1	0	4	9	25	16
	自転車盗	16	12	25	22	25	3
占有離脱物横領	2	2	8	7	9	2	
合計	33	31	59	73	119	46	

(4) 薬物乱用少年の検挙・補導は変わらず

令和7年中における薬物乱用少年の検挙・補導人員は5名で、前年と同水準です。

少年の薬物事犯は大麻が主流になっています。

(④参照)

④ 薬物乱用少年の検挙・補導状況

年次	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	増減数
麻薬等	0	0	0	0	0	0
大麻	5	1	7	5	5	0
覚醒剤	0	0	0	0	0	0
シンナー	0	0	0	0	0	0
合計	5	1	7	5	5	0

(5) 不良行為少年は減少

不良行為少年の補導人員は608名で、前年に比べ69名減少しています。

行為別では、

- ・飲酒 62名(前年比 + 24名)
- ・喫煙 189名(前年比 + 2名)
- ・深夜はいかい 265名(前年比 - 20名)
- ・その他 92名(前年比 - 75名)

です。その他には、粗暴行為や家出等が含まれています。

(⑤参照)

⑤ 不良行為少年の補導状況

年次	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	増減数
飲酒	19	38	36	38	62	24
喫煙	84	90	122	187	189	2
深夜はいかい	150	197	227	285	265	-20
その他	107	170	181	167	92	-75
合計	360	495	566	677	608	-69

(6) 福祉犯被害少年の人数は増加

少年の福祉を害する犯罪被害により保護した少年は69名(うち女子51名)で、前年に比べ11名増加しています。

(⑥参照)

⑥ 福祉犯被害少年

年次	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	増減数
被害少年	39	49	72	58	69	11
うち女子	29	42	60	43	51	8
うちインターネット利用	10	9	16	9	8	-1